

20歳以上の女性の方受けられます！

検査実施機関：北海道結核予防会札幌複十字総合健診センター



乳がん・子宮がん検診案内

日時

2016

11 / 5 (土) ・ 6 (日)

★詳しい時間帯は、下記をご覧ください。

会場

としべつ保健センター



◆受付時間（乳がん・子宮がん共通）

11月5日（土）・11月6日（日）

- ①8:00～8:30 ②9:00～9:30 ③10:00～10:30
④11:00～11:30 ⑤13:00～13:30 ⑥14:00～14:30

※乳がん検診の定員は2日間で140名となりますので、お早目のお申込みをお願いいたします。

◆対象者と料金

年齢と保険種別 検診の種類	対象者	今金町国民健康 保険加入者	社会保険等加入者	後期高齢者医療 保険加入者
乳がん検診	20歳以上	1,500円	2,500円	1,500円
乳がん・子宮がんは、20歳以上、毎年度1回受診できます！				
子宮がん検診 （経膈エコー 含）	20歳以上	1,500円	2,000円	1,500円

◆お申込みは（としべつ内保健福祉課健康づくりG保健師まで） ※土日除く

期間：平成28年10月11日（火）～10月20日（木） 8:30～17:15

方法：電話82-2780又はとしべつ窓口にてお申込み願います。



★託児できますので、お子様も連れてお越しください♪

※今年度の女性特有のがん検診は今回で最後となります。

◆乳がん

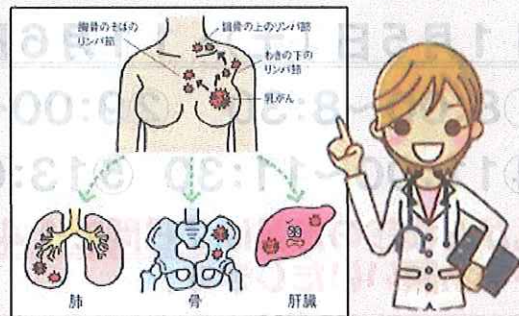
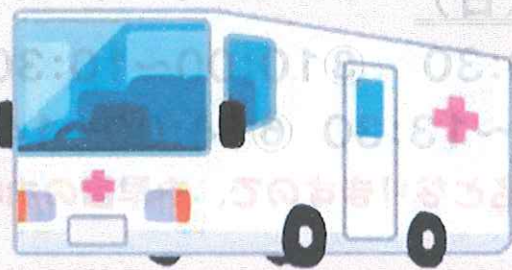
《はじめに》

乳がんは、乳房内の乳腺にできる悪性腫瘍です。40～60歳代に多いといわれていますが、最近は、20～30歳代の女性にも乳がんにかかる人が増えています。早期に発見して治療を受ければ治すことができます。特に2センチ以下のしこりで、リンパ節への転移がない状態であれば、約90%の人がほぼ完治しています。がんが小さいうちに発見できれば、大切な乳房を切除せずに済みます。

乳がんの初期の病変は手で触っただけでははっきりせず、見逃してしまうことが多いので、マンモグラフィー検査（乳房専用のX線撮影）や超音波検査を受けましょう。しこりを形成するがんが最も多いのですが、がんの性質によっては、しこりを作らない場合があります。また、乳頭から分泌物があり、分泌物に血が混じっているようであれば要注意です。（引用：北海道保健福祉部子ども未来推進局「女性の健康手帳」より）

《検査方法》

乳がん検診は、医師による問診・視診・触診とマンモグラフィー検査を行います。



◆子宮がん

《はじめに》

子宮がんは、女性なら誰でも起こりうる病気です。初期の自覚症状がないので、2年に1度は必ず健診を受けましょう。子宮がんには2つの種類があります。

①子宮頸がん

初期段階では殆ど自覚症状がありません。30歳以上にみられることが多かったのですが、最近は20歳代での発症が増えています。

②子宮体がん（※検診で不正出血など症状のある方が対象です）

初期段階では殆ど自覚症状はありません。出産経験の少ない女性がかかりやすく40歳以上に多いがんです。

（引用：北海道保健福祉部子ども未来推進局「女性の健康手帳」より）

《検査方法》

子宮頸がん検診は、問診、細胞診とエコー検査を行います。

★ピンクリボンとは、乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の早期受診を推進することなどを目的として行われる世界規模の啓発キャンペーンシンボルです。

